

(様式2(1))

事業所名:アネシス魚崎

作成日: 令和6年5月28日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	運営推進会議に家族や入居者の参加が少ない。 状況を勘案しながら、短時間でも参加できるよう取り組んでいく必要がある。	運営推進会議に利用者や家族が定期的に参加しているようになる。	①感染予防として入居者の参加は消極的であったが毎月1名ずつ参加していただけるよう働きかける。 ②今後も家族への参加呼びかけを継続し、参加が少ない場合には開催曜日や開催時間の変更も視野に入れ検討する。	3ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度について職員全員が一定の知識と理解を得られるよう、学ぶ機会を設けることが望まれる。	今年度中に対面形式で権利擁護について研修会を開催し、職員全員が一定理解出来るよう機会を設ける。スキルアップを目指す。	①年間研修計画の中に成年後見制度等の研修内容を盛り込み、確実な研修の実施が出来るように計画していく。また研修機会を増加させる為に各階のフロア会議内で本研修を盛り込むことも検討する。	3ヶ月
3	26	介護システム導入の過渡期にあり、新旧の書式が混在しPDCAサイクルが明確でないため、今後、書類とファイリングの整理が望まれる。	4月より介護ソフトを導入しており、今後は基本ベースは電子ソフト内で完結することを目指す。がソフト内でPDCAサイクルに必要なデータが作成できない場合は紙も使用しながらデータを取りまとめていく。	①4月より順次介護ソフトでの入力に切り替わっている。今後の見込みとしては全ての様式を電子化していく見込みであるが様式自体がないものに関しては書面ベースで残していき、必要なPDCAサイクルを継続できるようにしていく。	12ヶ月
4	35	訓練実施後は実施記録を作成し、参加できなかった職員も含め、実施状況や反省点等を共有することが望まれる。	避難訓練等実施後に参加出来なかったスタッフに避難時の注意点や反省、消火器の取扱いなどリスク委員会で取り上げ、全職員に情報共有していく。	①訓練実施後、実施記録を別途作成しリスク委員会内で施設全体のリスクマネジメントとして内容を精査する。訓練自体も今後は管理者主導ではなくリスクマネジメント委員会と連携して実践していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。